

## 地域課題の解決策作成①・②

### ▶ロジックツリーを作ってみよう

「ロジックツリー」とは

問題や課題を論理的に分解し、原因や解決策を明らかにするためのフレームワークのこと。

- ◇模造紙の上中央に、グループで取り組む課題を大きく書く。
- ◇「なぜ、この課題が起きているのだろうか?」と問いかけ、考えられる原因を書き出す。
- ◇原因を掘り下げて「なぜ?」を繰り返し、根本的な原因を探る。

ロジックツリーを作り、取り組んでみたい課題について深堀りしました。グループで選んだ課題の本質を見つけ、具体的な解決策を考えました。

受講生それぞれリーダーシップに不可欠な「課題設定力」と「合意形成力」を養いました。

## 地域課題の解決策発表準備

トータルコーディネーター：齊藤 雅美さん

(認定NPO法人あおもりNPOサポートセンター理事長)

### ▶解決策検討ポイント

- ◇構成：ロジックツリーで特定した最も深い原因に対する解決策を自由に書き出す。
- ◇目的：誰を、どのように、どうしたいか?を明確にする。
- ◇視点：①短期的・中長期的な視点で考える。
  - ②できること、できないことを切り分ける。
  - ③「失敗しない方法」ではなく「まずは試せること」から考える。
- ◇アイデアの具体化：発想したアイデアの中から1つを選び、詳細を書き込む。
  - ・誰を対象に?・何をする?
  - ・どんなメリットがある?
  - ・どうやって始めるの?
  - ・必要なものは?
  - ・上手く行かないとすればどんな原因が考えられる?

### ▶ストーリーを考えよう①

- ◇課題の背景と現状(導入)：発表を聞く相手に、まず自分たちの地域課題を「自分事」として捉えてもらうためのストーリーを考える。
- ◇ロジックツリーの活用：前回掘り下げた内容を発表を聞く相手向けに整理する。
- ◇課題発生の「なぜ?(Why)」：ロジックツリーで導き出した根本原因を簡潔に説明する。
- ◇解決策の「どうすれば?(How)」：根本原因を解決するための具体的なアプローチを示す。

### ▶ストーリーを考えよう②

- ◇期待される効果と提案(結論)：解決策を実行した場合どのような成果が見込めるかを伝える。
- ◇行政への具体的な協力依頼(アクション)：発表を聞いて、行政側に何を期待するのかを具体的に提示する。

### 参加者の声

- \* グループの垣根を超えて、事業計画・実施に向け話し合いができ、とても有意義な時間となった。
- \* 継続して取り組みを行っていくためには、同じ志をもつ者が多世代にわたって存在することも大切だと思う。様々な年代にアプローチできるよう工夫していきたい。